

停車場通信

平成25年3月10日発行

厚別中央地区演芸大会

2月17日、厚別区民センターで、厚別中央地区演芸大会が開催され、演目数25、延べ158名の皆さんが、日頃の練習の成果を披露してくださいました。

今回は、世代間交流の場にもなればと、ひばりが丘小学校5年生の皆さんがよさこいソーランを披露してください、その力強い演舞に手拍子や掛け声が飛ぶなど、会場は大いに盛り上がっていました。そのほか、歌唱、日本舞踊、フラダンス、伝統芸能など多種多彩な内容で、約400名の観客の皆さんも、楽しいひとときを過ごされたようです。



力強い「ひばりのソーラン」



色鮮やかな衣装による「河内おとこ節」

カルタ大会



緊張の一瞬

1月27日、しなの児童会館で第19回厚別中央地区カルタ大会が行われました。

百人一首の部は、6チーム、18人の参加があり、3人1チームで3回戦まで行い、優勝を競いました。年少の子も読みづらい字は周りに助けてもらいながら、熱戦を繰り広げていました。

また、別室では百人一首ができない子ども12人がいろはがるたを行いました。こちらも、暑さで上着を脱ぐほどの熱戦でした。

スノーフェスティバル

2月24日、ひばりが丘ふれあい広場で第40回厚別中央地区スノーフェスティバルが行われました。

雪模様の中、7チーム、67人の小学生が4つの種目で優勝を争いました。また、小さな子も特別種目で大活躍、おみやげのお菓子をもらってにっこり。昼ごろには雪もやみ、寒い中遊んだ後はアツアツの豚汁がふるまわれました。寒さに負けず、冬の一日を満喫したようです。



豚汁、おいしい！

【厚別中央のひと⑦】 遊びが育む地域の未来

広場に行ったら誰かがいて、その場で何をするか決めて、話し合ったり年長者が仕切ったりでなんとなくルールが決まって・・・大勢でわいわい遊んでいたのが昭和の子どもの日常だったと思います。時代の変化はやむを得ないことなのでしょうが、遊びを通して得た体験、人との交わりは大人になっても得難い貴重なものです。今回は、厚別しなの子ども会で遊びを通して子ども達を育む、多々見 朋子（たたみ ともこ）さん（厚別中央4条）にお話を伺いました。



インタビュー

多) → 多々見さん

イ) → インタビュアー厚別中央まちセン山本

イ) **まずは子ども会活動に携わった経緯と現在の活動内容からお伺いします。**

多) 平成7年に、当時活動されていた方に誘われたのがきっかけです。これまでも子ども会の行事には参加していましたので、名前だけならいいですよ（笑）と。子ども会としては、少年野球チームの信濃スターズとそれ以外の子ども会自体の活動の2本柱があって、今、野球の子どもが20人くらい、それ以外の子どもが250人くらいです。子ども会自体の行事は「遊園地に行こう」、「信濃小学校に泊まろう」、「クリスマス会」など。あと青少年育成委員会と一緒に中央地区の行事としてミステリー列車、カルタ大会、スノーフェスティバルに参加しています。私は会計を担当していますが、人数が少ないので総務的なこともやっています。

イ) **ちょっと大変そうですね。大人の方は何人いるのですか。**

多) なかなか動ける方が少なく、子ども会自体では5人くらいですかね。ほとんどの活動は子どもが中心となって企画・実施しているので、大人は準備や日程決め、見守りが主なものです。その中心になっているのがジュニアリーダーです。小学5年生からなることができ、年長者として活動が円滑に進むよう支える役割を担っています。

イ) **子どもたちだけで企画・実施などうまくいくのか心配です。大人としてどういった工夫をしたのでしょうか。**

多) 工夫したというよりは自然になっていった感じです。6年生が1年生の面倒を見るように、異年齢のグループを作って子ども同士の交流を持つようにしたのです。そして子どもの意見を活動に反映させると、やる気と責任感が芽生え、ジュニアリーダーがだんだん育ってきました。するとジュニアリーダーを見ている年少者に、いつかは自分もという気持ちが芽生えてきました。自分たちが体験したことなので、中学生、高校生は自然にサポートしてくれますし、大学生以上も見守ってくれます。

イ) **いい循環ができましたね。**

多) 昔なら子どもの数が多いので上の子が下の子の面倒を見るというサイクルができていたのですが、今はなかなかないので、ジュニアリーダーにしてみれば、年少者のために企画して年少者が楽しんでいる様子を見るのがやりがいにもなっているのだと思うのです。そして子ども会の外でもつながり、思いやりができる。そういったことを現代の社会の中で大切にしたいと思います。

イ) **いまの子どもを取り巻く環境についてはどう思いますか。**

多) 子どもは体験しながらでないで育っていかないのですが、今は子どもの遊びがバーチャルの世界であったり、体を動して何かをするという機会がどんどん少なくなっています。そして情報社会の中で親がこうあらねばならないという情報が先行してしまって、一生懸命であればあるほど親も大変な思いをしていると思うのです。私も3人子どもを育てたので、そんなに頑張らなくていい、肩の力を抜いていいんだよと伝えてあげたい。子ども会は子どものためのものなのだけど、できれば親も気持ちも楽になれるような活動ができればと思っています。また、これから障がいのある子どもたちも来ると思い勉強もしているので何かあったら言ってほしいです。

イ) **多々見さんがこれからやりたいと考えていることは。**

多) 子どもにとっての地域の居場所づくりを目指しています。公園でも会館でも小学校でも児童会館でも全部が居場所になる。

そして障がいのある子もない子も、さらに高齢者も含め世代やいろいろな垣根を越えた交わりが持てる場を作れば良いと思っています。子どもって名前が分からなくても次会ったときに手を振ったり笑ってくれたりするんです。そういう人たちが増えたらそれだけでいいまちになると思います。また、今の子どもはやがて次の地域を担うことになります。そのときに小さいときに接したことのある人とそうでない人と、全く違うと思うんです。



イ) **子どもは地域の未来ということですね。最後にひとこと。**

多) 本当に人が足りないのです。何かボランティアをしたいと思っている人。できるとき年に1回でも2回でも一緒に行事に参加していただいたり、子どもと一緒に遊んだり見守ったり、お手伝いをしてくれたらありがたいです。大変なことはないので、お仕事している人もしていない人も自分の時間をちょっとだけ充ててくれればと思います。ぜひ一緒に楽しみませんか。

札幌という大都市にありながら、ちょっと田舎くさいあたたかさで子どもたちを見守ってくれる。それでいて、転居してくる新しい人たちとも調和がとれている、こんないいまちはほかにないとおっしゃる多々見さん。これからも子ども達を、そして地域の未来を育ててください。多々見さん、ありがとうございました。

地区カレンダー（行事の詳細については、「広報さっぽろ」やホームページ、各団体のチラシをご覧ください）

厚別区・札幌市などの動き	地区の動き
3月	3月
12日 厚別区統計調査員協議会連合会研修会 （アークシティホテル） 15日 中学校卒業式（市立） 17日 札幌藻岩山スキー場まつり（同スキー場） 19日 小学校卒業式（市立） 25～29日、4月1日 各区役所戸籍住民課窓口午後7時まで時間延長	10日 交通安全マスコット祈願祭 （信濃神社） 21日 子育てサロン「ぴーちくパーク」 （ひばりが丘小学校） 21日 厚別中央町内会連合会役員会 （旭町会館）
4月	4月
8日 小学校入学式（市立） 9日 中学校入学式（市立）	8日～ 春の交通安全街頭啓発運動 （とんでん前） 29日 厚別中央町内会連合会定期総会 （JAさっぽろ厚別支店）
	5月
	13日 厚別中央地区社会福祉協議会総会 （旭町会館）

◆編集後記◆（所長のつばゆき）

この停車場通信を皆さんがご覧になるころには、もうそろそろ春の足音が聞こえてきているのでしょうか。

それにしてもこの冬はものすごい量の雪でした。私もそうですが雪の捨て場所がなくて頭を抱えた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

暖かくなったらなったで、足元を取られたり落雪の危険があったりするのでこれも十分ご注意ください。春風が吹いたら、雪割りをして、家の周りをきれいにし、さわやかに季節の変わり目を迎えたいものですね。

<山本>

～編集・発行～

厚別中央まちづくりセンター(仮事務所) 厚別区厚別中央3条2丁目12-35

電話 011-891-3907 FAX 011-895-0149

厚別区役所ホームページURL <http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/>

札幌市役所ホームページURL <http://www.city.sapporo.jp/>



さっぽろ市
03-Q01-12-446
24-3-216